

令和5年度版

看護学科

入学試験過去問題



学校法人 美専学園

北海道医薬専門学校

数学 I ・ 数学 A

問 1 次の式を展開しなさい。

(1) $(x + 3)^2$

(2) $(x + 2)(x - 2)$

(3) $(x + y + 1)(x + y - 1)$

(4) $(x - 2)(x^2 + x - 3)$

問 2 次の式を因数分解しなさい。

(1) $x^2 - 9$

(2) $x^2 - 8x + 7$

(3) $2x^4 + x^2y^2 - 3y^4$

(4) $2x^3y - 12x^2y^2 + 18xy^3$

(5) $2(x - 3)^2 + (x - 3) - 3$

問 3 以下の文章を読み、それぞれ計算して答えなさい。

(1) 目的地まで 6km の道のりを、はじめは分速 180 m で走り、途中から分速 60 m で歩くことにする。

(イ) 走る時間と歩く時間を等しくしたい。このとき目的地に着くまでにかかる時間を求めよ。

(ロ) 目的地につくまでにかかる時間を 40 分以上 45 分以内になりたい。そのためには、走る道のりを何 m 以上何 m 以下にすればよいか。

(2) ある自然数を 4 倍して 5 を足したものは、元の数を 6 倍して 5 を引いたものより大きい。

この自然数のうち最も大きいものを求めよ。

問4 次の計算をなさい。

(1) 次の式を、分母を有理化して簡単にしなさい。

$$\frac{\sqrt{2}}{\sqrt{2}+\sqrt{3}} + \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{2}-\sqrt{3}}$$

(2) 次の式を簡単にしなさい。

$$\sin 40^\circ \cos 50^\circ + \cos 40^\circ \sin 50^\circ$$

(3) $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ とする。次の等式を満たす θ の値を求めよ。

$$\cos \theta = -\frac{1}{\sqrt{2}}$$

問5 次の方程式、不等式を解きなさい。

(1) $|x + 1| + 2x = 7$

(2) $|2x - 3| < 5$

(3) $3|x + 2| = |2x - 1|$

問6 次の連立方程式を解きなさい。

(1)
$$\begin{cases} 5x + 3y = 34 \\ 8x - 2y = 34 \end{cases}$$

(2)
$$\begin{cases} 5x + 3y = 4 \\ 7x + 2y = -1 \end{cases}$$

問7 $AB = 1$ 、 $BC = \sqrt{3}$ 、 $CA = 2$ である直角三角形がある。

(1) 三角形の面積を求めよ。

(2) 内接円の半径を求めよ。

国語総合

問一 次の文章を読んで、次の問いに答えなさい。

〔「私」は小樽市の旧制高等商業学校に入学した。〕

私は、満で十七歳と三ヶ月ほどになっていた。中学校から一緒に来た友人と一緒に髪を伸ばしはじめていたけれども、私は自分があらゆる事に①少年らしいためらいを感ずるのを隠していた。私は学問とか学校の組織というものは怖れなかった。それは、学問という形の a ワケが決まっています、それを埋めて行けばいいことが分かっていた。A 私は、他人にもものを言う時に、どういう表情をし、どういう言葉の約束を守ればいいのか分からなかった。大人たちの使う普通の物の言い方は、私には非常に粗雑な、空っぽな、鉄面皮な表現法に思われた。そして同級生たちは、大人びたものごしの生徒ほど、その大人らしい粗雑な表現を使った。いまの所じぶんにはとてもできない。そう思った。

私は自分を、大人のふりをしている子供、B 普通人の言動をする能力のないニセ者と感じていた。私がそれ等の②普通人の型に入って行けなかった理由は、私の言葉には自分の育った漁村に東北なまりが混じっていて、全国から集まった級友たちの使う「内地」の言葉に比べてためらいを感ずるせいらしかった。しかしそれだけでなく、私は十六歳から近代日本の象徴詩や自由詩やヨーロッパ系の訳詩を読み、自分でも詩を書き、詩の表現を自分の心の本当の表現だと信じていたからであった。詩の表現以外の言語表現を、私は真実のものと見ていなかった。

私は、自分がヨーロッパや日本の詩人たちの見方で周囲を見ていることを、人にあらわに示すのを怖れた。詩の中の感情や、詩の中の判断を日常生活の中に露出すれば、人を傷つけ、自分も傷ついて、この世は住み難くなることを、私は本能的に知っていた。私は詩を読み、詩を書くことにだけ結びついている自分の心の働きを、人目にさらすのを怖れた。私は自分の外の形を、勉強好きの、内気な生徒、というものによって③級友たちの世間並みの型に落ちこまないように自分を守った。

内気、ウブさ、オクテ、それ等の外形はずいぶん私の役に立った。私は高等商業学校の、b 口ウカを、そのような外形に包まれて、ひっそりと目立たぬように歩いた。しかも時々私は、④自分の詩の心を疑った。自分が本当にオクテではないのか、この学校で使う言葉や考え方もまだ手に入れていない少年ではないのか、という劣等感に、c オソわれた。それは、大正の終わりに近い一九二二年のことであった。

(伊藤 整「若い詩人の肖像」より)

(1) 波線部 a～c のカタカナを、それぞれ漢字に直して答えなさい。

(2) 空欄 A・B に入る適語を、次の中から選び記号で答えなさい。

ア なぜなら イ または ウ もちろん エ しかし オ いわゆる

(3) 傍線部①「少年らしいためらい」の説明として適当なものを、次から一つ選び記号で答えなさい。

ア 今までの中学校生活に未練を感じる気持ち。
イ 同級生たちに対して怖れを感じる気持ち。
ウ どう振る舞っていいのかたじろぐ気持ち。
エ 人見知りで他人を避けようとする気持ち。
オ 自分の中に閉じこもってしようとする気持ち。

(4) 傍線部②「普通人の型に入って行けなかった理由」として、適当でないものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 詩の表現だけが真実だと思っていたから。
イ 詩の表現以外の表現を模索していたから。
ウ 詩の表現では人を傷つけると思ったから。
エ 自分のなまりのある言葉が気になっていたので。
オ 級友たちの内地の言葉に引け目を感じたから。

(5) 傍線部③「級友たちの世間並みの型」とあるが、「世間並みの型」の生徒とはどのような生徒か。本文中の表現を用いて、二十五字以内で説明しなさい。

(6) 傍線部④「自分の詩の心」とあるが、これを詳しく言いかえた二十五字の表現を本文中から抜き出して答えなさい。

(7) この文の内容に合致するものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 私は自分がオクテで学問について行けないのではないかという劣等感におそわれた。
イ 私は大人の言動になじめず、大人のふりをしたりはしなかった。
ウ 私は級友たちの世間並みの言動に複雑さを感じて、話すことを避けていた。
エ 私は中学時代と同じ外見を心がけ、内気、ウブ、オクテな外形を心がけた。
オ 私は詩の中の感情や判断を日常にあらわすべきではないと考えていた。

コミュニケーション英語 I・II

問1 次の日本語に相当する英語を、それぞれ1つずつ選び、ア～エから答えなさい。

(1) 重要な

ア pleasant イ constant ウ significant エ dominant

(2) 効率的な

ア ingredient イ excellent ウ efficient エ innocent

(3) 適切な

ア obstinate イ fortunate ウ appropriate エ desperate

(4) 明らかな

ア courageous イ obvious ウ conscious エ harmonious

(5) 相対的な

ア aggressive イ massive ウ relative エ native

問2 次の英語に相当する日本語を、それぞれ1つずつ選び、ア～トから答えなさい。

(1) author (2) influence (3) material (4) individual (5) resource

(6) feature (7) detail (8) temperature (9) status (10) ancestor

ア 作者	イ 子孫	ウ 資源	エ 銅像	オ 地位
カ 影響力	キ 気質	ク 特徴	ケ 範囲	コ 祖先
サ 材料	シ 証人	ス 詳細	セ 家具	ソ 受け皿
タ 個人	チ 医薬	ツ 体温	テ 風邪	ト 指揮者

問3 次の(1)～(5)の各文の空所に入る適切な語または語句を、ア～エから答えなさい。

(1) On my way home from school, I was () a stranger.

ア spoken at イ spoken to by ウ spoken by エ spoken with by

(2) All things (), she is still in the wrong.

ア considering イ were considered ウ considered エ being considering

(3) Even if the sun () in the west, I would not change my mind.

ア would arise イ were to rise ウ might raise エ were to rouse

(4) He sat on the sofa with his () and soon fell asleep.

ア legs crossing イ cross legs ウ legs crossed エ crossing legs

(5) His lazy wife does not so () as wash her own dishes.

ア even イ much ウ far エ little

問4 次の英文を読み、後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

① Many years ago, the people of the town in South America had a big problem. Their cats were dying, and no one knew the reason. Not long before, every house had its own cat - sometimes even two or three. They killed the mice that came into the town from the forests, but suddenly the cats were dying. It was very strange. First the cats began to shake all over. Then they stopped eating, and after a few days they died. The people didn't know why so many cats were dying.

② Like other areas in the country, many insect pests were found in this town. These pests often carry dangerous diseases. (1) at that time there were no insect problems in the town, because people were using a new poison called DDT to kill insects. Several times a year they spread DDT in every house in the town, so they thought that the diseases carried by insects were not killing the cats.

③ Soon a strange thing began happening in the town. The cats were dying, and a lot of mice appeared in the town. Then some of the people suddenly became very ill. The doctors discovered that it was a disease called black typhus. The doctors knew the mice were carrying black typhus. (2) people caught all the mice they found and killed them. After that black typhus disappeared from the town.

④ Did the cats also die because of black typhus? The doctors did not think so, because they found that cats didn't have black typhus.

⑤ A team of doctors came to the town and began to study why the cats were dying. (3) they found there was enough DDT in the cats' bodies to kill them. The DDT spread in the house went into the cats and killed them.

⑥ Now the doctors knew everything: (4) the mice couldn't come into the town because many cats lived there. Then DDT was spread in the town to kill insects, and the cats began to die. After all the cats were dead, there was nothing to keep the mice out of the town. The black typhus disease the mice carried was spread through the town's food and water. Hundreds of mice came into the town. Soon the people became ill and died.

⑦ The scientists invented a wonderful poison that killed insect pests. But these scientists forgot that everything in this world is connected. The poison that kills insect pests also kills cats, birds and fish. By solving one problem, people sometimes create new and more dangerous problems.

black typhus 黒チフス (伝染病) pest 害虫

(1) (1)～(4)に入る最も適切な組み合わせを、ア～エから答えなさい。

- | | | | |
|-----------|---------|--------------|--------------|
| ア (1) So | (2) But | (3) At first | (4) At last |
| イ (1) But | (2) So | (3) At last | (4) At first |
| ウ (1) So | (2) But | (3) At last | (4) At first |
| エ (1) But | (2) So | (3) At first | (4) At last |

(2) 段落①の下線部の内容を具体的に表している日本語を1つ選び、ア～エから答えなさい。

- ア 南アメリカのある町に森から突然多数のネズミが入ってきたこと。
- イ 南アメリカのある町で各家庭の飼い猫が突然死に始めたこと。
- ウ 南アメリカのある町で害虫が増えて危険な病気をもたらしたこと。
- エ 南アメリカのある町で危険な伝染病が発生したこと。

(3) 段落③の下線部の内容と一致していない英文を1つ選び、ア～エから答えなさい。

- ア The cats which every house had suddenly began to die for some reason or other.
- イ A lot of mice died because of the diseases carried by insect pests.
- ウ After the cats died, a lot of mice came into the town from the forests.
- エ The cats died, and the black typhus was spread throughout the town and then the people became ill and died.

(4) 段落⑦の下線部を説明する日本語として不適切なものを1つ選び、ア～エから答えなさい。

- ア DDTは害虫だけでなく猫や鳥、魚までも殺してしまうことになる。
- イ 猫がいなくなるとネズミが増えて農作物に害を与えることになる。
- ウ 黒チフスは猫だけでなくネズミや人間をも殺してしまうことになる。
- エ 1つの問題の解決がさらにやっかいな問題を引き起こすこともある。

(5) 本文の内容に合うものを1つ選び、ア～エから答えなさい。

- ア The new poison called DDT killed not only cats but also mice.
- イ Thanks to a lot of cats every house had, mice couldn't enter the town from the forests.
- ウ The cats in the town were killed by the pests carrying black typhus.
- エ The cats in the town died because of the diseases the mice carried.

令和5年度過去問題 解答

数学 I ・ 数学 A

問1 (1) $x^2 + 6x + 9$ (2) $x^2 - 4$ (3) $x^2 + 2xy + y^2 - 1$ (4) $x^3 - x^2 - 5x + 6$

問2 (1) $(x + 3)(x - 3)$ (2) $(x - 1)(x - 7)$ (3) $(x + y)(x - y)(2x^2 + 3y^2)$
(4) $2xy(x - 3y)^2$ (5) $(x - 4)(2x - 3)$

問3 (1) イ - 50分 口 - 4950 m以上 5400 m以下 (2) 4

問4 (1) -5 (2) 1 (3) $\theta = 135^\circ$

問5 (1) $x = 2$ (2) $-1 < x < 4$ (3) $x = -7, -1$

問6 (1) $x = 5, y = 3$ (2) $x = -1, y = 3$

問7 (1) $\frac{\sqrt{3}}{2}$ (2) $\frac{(\sqrt{3}-1)}{2}$

国語総合

問一 (1) a- 粹 b- 廊下 c- 襲われた (2) A- エ B- イ (3) ウ (4) イ

(5) 大人びたものごしで大人らしい粗雑な表現をする生徒。

(6) 詩を読み、詩を書くことにだけ結びついている自分の心 (7) オ

問二 ①できあい ②ぜいじゃく ③ついしょう ④おかん ⑤かんすい ⑥しさ ⑦わいきよく
⑧ちゅうちょ ⑨むく ⑩きゆう

問三 ①降 ②若 ③末 ④暗 ⑤果

問四 ①嫁 ②本 ③琢 ④無 ⑤捨

問五 ①カ ②ウ ③ク ④イ ⑤キ

コミュニケーション英語 I ・ II

問1 (1) ウ (2) ウ (3) ウ (4) イ (5) ウ

問2 (1) ア (2) カ (3) サ (4) タ (5) ウ (6) ク (7) ス (8) ツ (9) オ
(10) コ

問3 (1) イ (2) ウ (3) イ (4) ウ (5) イ

問4 (1) イ (2) イ (3) イ (4) ウ (5) イ

令和6年度版

看護学科

入学試験過去問題



学校法人 美専学園

北海道医薬専門学校

国語総合

問一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

西欧においては、時間は直線的なものであり、したがって次第にもとの地点から遠ざかり、**①忘却と破壊**をもたらすものと考えられていた。西欧美術の画像表現において、「父なる時」が、しばしば「死に神」と同じく、大きな鎌を手にした老人の姿で表されるのは、そのためである。つまり、「時」は危険な破壊者にほかならない。その「時」の容赦のない破壊作用と忘却作用に **a** テイコウして記憶を永続させざるために、**堅牢な材料**による **モニュメント** が造られたのである。

だが日本においては、時間は反復されることよって思い出を **甦** よみがえらせてくれるものであり、記憶の破壊者であるよりも、むしろ記憶の友である。循環する時間と結びつけたさまざまな **b** ギレイや祭り、すなわち年中行事が日本において古くから重要視されているのも、そのためである。

I、年中行事は、日本ばかりではなく、西欧においても、あるいはその他の地域においても見られるものである。

II、世界のどの地域にも見られる四季の変化に日本人が特に敏感であるのと同じように、年中行事に対しても、日本人は特別な重要性を与えている。そのことは、他の諸国の文学にはおそらく類例のない俳句の「季語」という制度のなかに、季節の特色を示すさまざまな言葉と並んで、数多くの年中行事が含まれていることや、あるいは、**②都会の名所**を描いた広重の《**名所江戸百景**》のなかに年中行事を描き出したものが少なからず見られるという事実によっても、うかがうことができる。それは、「季語」や「名所」というものが、人間の記憶と深く結びついたものだからである。

日本の絵画の歴史においては、「四季絵」や「**月次絵**」（二年十二か月の風俗を風景とともに描き出した絵画）というジャンルが早くから発達して、多くの作品を生み出してきた。その背後に一貫して流れているのは、**③「途切れることなく循環する時間」という考え方**である。ルーヴル美術館にあるブッサンの名作「四季」やブーシェやランクレなどロココの画家たちが好んで描いた「四季」は、いずれも四点別々の独立した作品を揃えたシリーズであって、それぞれの季節は他の季節から切り離されている。日本の「四季絵」の大きな特色は、春夏秋冬がひとつの画面に連続して描かれる点にある。季節は途切れることなく自然に移り変わり、途切れることなくまた戻ってくる。「時間の循環」に対するこのような信頼感が、記憶の **c** ケイショウを保証しているのである。

(1) 波線部 a く c のカタカナを、それぞれ漢字に直して答えなさい。

(2) 空欄 I・II にあてはまる語として適当なものを、それぞれ次から選び、記号で答えなさい。
ア もちろん イ ところで ウ やはり エ しかしながら オ なぜなら

(3) 傍線部①「忘却と破壊をもたらすもの」とあるが、西欧においてがそうならば、日本における時間は何か。本文中より四字で抜き出して答えなさい。

(4) 傍線部②「都会の名所をく見られる」の理由として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 年中行事は最も有名な場所で行われるから。

イ 名所も年中行事も記憶と密接に関わるから。

ウ 年中行事には深い愛着があるから。

エ 名所の景色は俳句の季語と結びつくから。

オ 年中行事は季節ごとに行われるから。

(5) 傍線部③「途切れるく考え方」とあるが、それにもとづいて描かれた絵画の特徴について述べられている二十字の部分を本文中より抜き出して答えなさい。

(6) 西欧の時間と日本の時間とはどのように違うのか。四十字以内で説明しなさい。

(7) この文の内容に合致するものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 西欧にも記憶を永続させるために造られた建物は存在するが、広重の絵画にはそれよりも強い永続性への希求が感じられる。

イ 四季を描いた絵画は、春夏秋冬という循環する季節を持っている日本でしか見られない、極めて独特なものである。

ウ 西欧における記憶とは、常に忘れられていくことであって、日本人のようにいつまでも語り継ぐべきものとは考えていない。

エ 記憶は時間がたてば風化していくものであるため、堅牢な材料でそれを永続させようとする行為は、洋の東西を問わず見られる。

オ 年中行事は世界の至る所で見られるものだが、日本人は、記憶を受け継いでいく手立てとして、特にそれを重んじてきた。

問二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

幸一は、叔父の病院からの一時帰宅の祝いの席に、鯛を持ってやって来た。

「いいわよ、①そんなに気にしなくても。いつも病院に来てくれてるじゃない。それより自分の体を大事にしてちょうだい。ちよつと待ってね。幸ちゃんと変わるから。」

それで相手は母だとわかった。先に鯛を差し出した。

「いやあ、すごい尾頭つきを持ってきてくれたわよ。どうしよう。わたし、こんな鯛、下ろせるかしら。」

受話器を受け取った。「ああ、幸一。ご苦労さん。大介や遥は連れてきたの。」

「いやあ、おれ、一人だよ。」

「そう。悪いけど、おかあちゃん、行くつもりだったけど、行かないことにしたから。」なんとなく歯切れ悪い声で言った。

「どうしたんだ。」

「②利子さん、そこにいる？」

「いや。」おばは魚を持って台所へ去って行ったところだった。

「おばちゃんには、神経痛が出たからよう行かん言うたけどね。ほんとはたいしたことないんだよ。それより、おかあちゃん、このごろものすごい涙もろうなって、おじちゃんの顔を見るのがつらいんだよ。見るだけで涙がにじんでくるんだもん。それで、そっちへ行くのが怖いんだ。もし変に取り乱して、③おじちゃんに気づかれたら、それこそえらいことやから。そう思ったら、急に行けんようになってしもうて。おじちゃん、寝てるか？」

「全然、a テンテキスタンドを引きずって、軽トラックのエンジンかけてる。バッテリーが上がるといかんからって。」④母が絶句した。

「いいよ。慎ちゃんが帰ってくるみたいだから、今夜は二人でにぎやかにやるわ。」

「そう。じゃ明日、慎ちゃんとは病院で会えるわね。あんたは今夜泊まるの？」

「いや、b オソクなくても帰る。」

「じゃあ気をつけてね。」

受話器を置くと、にわかにならんとしたc セイジャクに包まれた。家の中にたれ込めている空気が空き家みたいにならんとした。A。人のおいがほとんどなくなっている。

(志水 辰夫 「夜汽車」より)

※ 読みやすさのために、会話毎に改行しています。

(1) 波線部 a、c のカタカナを、それぞれ漢字に直して答えなさい。

(2) 空欄 A に当てはまる語句として、適当なものを次から選び記号で答えなさい。

ア すがすがしかった
イ いがらっぽかった
ウ かたくなっていた
エ よそよそしかった
オ ほこりっぽかった

(3) 本文中の人間関係として、正しいものを選んで記号で答えなさい。

ア 利子は「おかあちゃん」の娘である。 イ 幸一と利子はいとこである。
ウ 「おじちゃん」と慎ちゃんは親子である。 エ 慎ちゃんと幸一は兄弟である。
オ 「おじちゃん」と大介は祖父と孫の関係である。

(4) 傍線部①「そんなに気にしなくても」とあるが、何を気にするのか、適当なものを次から選び記号で答えなさい。

ア 幸一の持っていた見舞いの鯛が高かったこと。
イ 利子の機嫌をそこねないように気をつけていること。
ウ 病院へ見舞いに行かないでしまったこと。
エ おじちゃんの祝いの席に行くのをやめたこと。
オ わざわざ見舞いの品を幸一に持って行かせたこと。

(5) 傍線部②「利子さん、そこにいる？」と聞いた理由を、三十五字以内で答えなさい。

(6) 傍線部③「おじちゃんに気づかれたら、それこそえらいことやから」とはどういうことか。次から適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア 退院したおじちゃんを見て涙を流してしまうと、座がしらけてしまうことを恐れている。
イ おじちゃんとは肌が合わず顔を合わせたくない、ということを知られるのを恐れている。
ウ おじちゃんの前で動揺して、彼に重病であることを気づかれてしまうことを恐れている。
エ 神経痛を口実にして欠席したことを知られると、気まづくなってしまふのを恐れている。
オ おじちゃんに負担をかけないために行かないことを、知られてしまふことを恐れている。

(7) 傍線部④「母が絶句した」のはなぜか。その理由を二十字以内で答えなさい。

問三 次の傍線部の漢字の読み方を、ひらがなで答えなさい。

- ① 異端を排斥する。 ② いよいよ佳境に入る。
- ③ 要点を抜粋する。 ④ 示唆に富む。
- ⑤ 前例を踏襲する。 ⑥ 論理に誤謬が生じる。
- ⑦ 栄誉は努力の賜物だ。 ⑧ 絢爛豪華な衣装を着る。
- ⑨ 人権を擁護する。 ⑩ 合格通知に安堵する。

問四 次の四字熟語の意味を、後の語群から選びなさい。

- ① 夏炉冬扇 かろとうせん ② 龍頭蛇尾 りゆうとうだび ③ 傍若無人 ぼうじやくぶじん
- ④ 鷄鳴狗盜 けいめいことう ⑤ 我田引水 がでんいんすい

語群

- ア 足りないことや欠点のないこと イ くだらない技能でも役立つこと
- ウ 都合のよいようにこじつけること エ 目先の利益に惑わされること
- オ 立派な外見に中身が伴わないこと カ 初めは盛んでも終わりがふるわな
- キ 勝手気ままに振る舞うこと ク 自然のままに行動すること
- ケ 季節に合わない無用の長物 コ 味わいも面白さもないこと

問五 次の空欄に漢数字を入れて、四字熟語を完成しなさい。

- ① 悪事□里 ② □目瞭然 ③ □方美人
- ④ 森羅□象 ⑤ □鬼夜行

問六 次のことわざの□に、下の意味になるよう、身体に関する一語を入れて完成しなさい。

- ① □を盗む 意味（こっそりと行う）
- ② □を洗う 意味（覚悟する）
- ③ □が広い 意味（知人が多い）
- ④ □を痛める 意味（心配する）
- ⑤ □を揃える 意味（金銭を不足なく用意する）

参考（身体に関する語）

頭・毛・顔・目・鼻・耳・口・首・肩・胸・腹・腰・足

令和6年度過去問題 解答

問一

(1) a | 抵抗 b | 儀礼 c | 継承 (2) I | ア II | エ (3) 記憶の友

(4) イ

(5) 春夏秋冬がひとつの画面に連続して描かれる

(6) 西欧の時間は直線的で記憶を破壊するが、日本の時間は循環し記憶と結びついている。

(7) オ

問二

(1) a | 点滴 b | 遅く c | 静寂 (2) エ (3) ウ (4) エ

(5) 行かないことにした本当の理由を、利子さんに知られたくなかったから。

(6) ウ (7) おじちゃんが寝ずに動きまわっているから。

問三

①はいせき ②かきよう ③ぼっすい ④しさ ⑤とうしゅう ⑥ごびゅう ⑦たまもの
⑧けんらん ⑨ようご ⑩あんど

問四

①ケ ②カ ③キ ④イ ⑤ウ

問五

①千 ②一 ③八 ④万 ⑤百

問六

①目 ②首 ③顔 ④頭 ⑤耳

コミュニケーション英語 I・II

問1 次の日本語に相当する英語を、それぞれ1つずつ選び、ア～エから答えなさい。

- (1) 最も重要な
ア ordinary イ secondary ウ primary エ contrary
- (2) 巨大な
ア monotonous イ dangerous ウ humorous エ enormous
- (3) 現代の
ア temporary イ momentary ウ literary エ contemporary
- (4) 従来の
ア additional イ exceptional ウ conventional エ educational
- (5) 原子力の
ア nuclear イ particular ウ muscular エ circular
- (6) 初級の
ア elementary イ monetary ウ documentary エ voluntary

問2 次の英語に相当する日本語を、それぞれ1つずつ選び、ア～トから答えなさい。

- (1) reward (2) crisis (3) conference (4) analysis (5) virus
(6) substance (7) diversity (8) barrier (9) quantity (10) infant
- ア ウイルス イ 分析 ウ 乳児 エ 復習 オ 量
カ 絶頂 キ 自信 ク 会議 ケ 研究 コ ビール
サ 空間 シ 物質 ス 単調さ セ 危機 ソ 多様性
タ 自由 チ 質 ツ 成人 テ 障壁 ト 報酬

問3 次の(1)～(10)の各文の空所に入る適切な語または語句を、ア～エから答えなさい。

- (1) The new personal computers are much lighter than the old ().
ア it イ that ウ ones エ them
- (2) Cars imported from other countries are much better than () produced in the country.
ア all イ them ウ those エ which
- (3) He is a high school student, and should be treated as ().
ア it イ so ウ such エ well
- (4) () was a present from my friend.
ア My new dictionary of this イ My new this dictionary
ウ This my new dictionary エ This new dictionary of mine
- (5) There are many cherry trees on () side of the road.
ア any イ another ウ either エ both
- (6) The party was great. We enjoyed () very much.
ア us イ with us ウ ourselves エ by ourselves
- (7) A doctor () job is operating on patients is called a surgeon.
ア who イ whose ウ whom エ that
- (8) This is the park () I used to take a walk in the morning.
ア how イ where ウ which エ why
- (9) I got struck in a traffic jam, () made me ten minutes late for the party.
ア which イ that ウ it エ as
- (10) He spends () he earns on his clothes.
ア as イ but ウ that エ what

問4 次の(1)～(5)の各組の日本語と英文が同じ意味になるように、()に入る適切な語または語句を、ア～エから答えなさい。

- (1) 彼は医師になるために勉強している。
He studies with a view to () a doctor.
ア become イ becoming ウ be becoming エ have become
- (2) 食べ過ぎが有害であるという事実は否定できない
There is no denying the fact () eating too much is harmful.
ア what イ which ウ that エ of which
- (3) 彼が来たらずぐに出発しよう。
Let's start as soon as he ().
ア will come イ has come ウ comes エ come
- (4) このようにして彼は彼女と知り合いになったのです。
This is () he came to know her.
ア which イ in which ウ how エ when
- (5) 「列車はあとどのくらいで出ますか」「5分で出ます」
"How () will the train start?" "In five minutes."
ア long イ soon ウ often エ fast

問5 ()内の語を並べかえて、英文を完成しなさい。その順番をア～オで答えなさい。

- (1) He came (ア years' イ after ウ home エ three オ absence).
- (2) The teacher is (ア old friend イ father's ウ of エ an オ my).
- (3) A stranger (ア the イ me ウ caught エ arm オ by).
- (4) He is the last (ア lie イ man ウ a エ tell オ to).
- (5) This is (ア a イ to ウ too エ story オ good) be true.

問6 次の英文の(1)～(5)に入る適切な語を1つ選び、ア～キから答えなさい。

No doubt some people are lucky enough to have a good sense of direction by birth. But I am (1) at sensing direction, and even though I must have visited a place many times, I get lost on my way to the place.

When I was a teenager, I was so shy that I couldn't ask the way and used to wander in circles and hope that some miraculous chance would bring me to the spot I was heading for.

I am no longer too embarrassed to ask people for directions, but I often receive very (2) replies. Therefore, after having asked for directions, I regret (3) so now and then.

If anyone ever asks me the way somewhere, I always tell them that I am not (4) with this area in order to avoid (2) them, but even this can have embarrassing results.

When I was once on my way to work, I was stopped by a man who asked me if I would direct him to the Sunlight Building. I replied as usual, but soon I realized that he had asked for the way to my office building. At this point, I tried (5) back in search of him, but it was too late.

in circles ぐるぐると direct A to B AにBへの道を教える

ア good イ familiar ウ turning エ confusing オ unfamiliar
カ doing キ poor

問7 次の英文を読み、後の1～5の問いに答えなさい。

① There is an old saying in English: "Laughter is the best medicine." Until recently, few people took the saying very seriously. Now, however, doctors have begun to investigate laughter and the effect it has on the human body. They have found evidence that laughter really can improve people's health.

② Tests were carried out to study the effects of laughter on the body. People watched funny films, while doctors checked their heart rate, blood pressure, breathing and muscles. It was found that laughter has similar effects to physical exercise. It increases blood pressure, the heart rate and the rate of breathing; it also works several groups of muscles in the face, the stomach, and even the feet. If laughter exercises the body, it must be beneficial.

③ Other tests have shown that laughter appears to be capable of reducing the effect of pain on the body. In one experiment doctors produced pain in groups of students who listened to different radio programs. The group which tolerated the pain for the longest time was the group which listened to a funny program. The reason why laughter can reduce pain seems to be that it helps produce endorphins in the brain. These are (1) that diminish both stress and pain.

④ There is also some evidence to suggest that laughter helps the body's (2), that is, the system that fights infection. In an experiment, one group of students watched a funny video while another group served as the control group --- in other words, a group with which to compare the first group. Doctors checked the blood of the students in both groups and found that the people in the group that watched the video had an increase in the activity of their (3), that is, the cells that fight infection.

⑤ As a result of these discoveries, some doctors and psychiatrists in the United States now hold laughter clinics, in which they try to improve their patients' condition by encouraging them to laugh. They have found that even if their patients do not really feel like laughing, making them smile is enough to produce beneficial effects similar to those caused by laughter.

infection 感染

control group 対照群：実験の要素となる条件を加えないグループ

(1) 段落②の下線部の内容と一致していない英文を1つ選び、ア～エから答えなさい。

- ア It increases blood pressure.
- イ It works some muscles and increases blood sugar levels.
- ウ It increases the rate of breathing.
- エ It works several groups of muscles in some body parts.

(2) 段落③の下線部 it の指すものを1つ選び、ア～エから答えなさい。

- ア pain イ laughter ウ stress エ infection

(3) (1)～(3)に入る最も適切な組み合わせを、ア～エから答えなさい。

- | | | | |
|---|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| ア | (1) white blood cells | (2) immune system | (3) natural chemicals |
| イ | (1) white blood cells | (2) natural chemicals | (3) immune system |
| ウ | (1) immune system | (2) natural chemicals | (3) white blood cells |
| エ | (1) natural chemicals | (2) immune system | (3) white blood cells |

(4) 段落⑤の下線部 those の指すものを1つ選び、ア～エから答えなさい。

- ア the smiles イ the patients ウ the effects エ the condition

(5) 本文の内容に合うものを1つ選び、ア～エから答えなさい。

- ア If we want to increase the beneficial effects of laughter, we should laugh as loudly as possible.
- イ Getting physical exercise is far better for the health than laughing.
- ウ Laughter can decrease the activity of white blood cells in a human body.
- エ When we are laughing, we seem to feel less pain because of endorphins produced in our brain.

令和6年度過去問題 解答

コミュニケーション英語 I・II

問1 (1) ウ (2) エ (3) エ (4) ウ (5) ア (6) ア

問2 (1) ト (2) セ (3) ク (4) イ (5) ア (6) シ (7) ソ (8) テ (9) オ
(10) ウ

問3 (1) ウ (2) ウ (3) ウ (4) エ (5) ウ (6) ウ (7) イ (8) イ (9) ア
(10) エ

問4 (1) イ (2) ウ (3) ウ (4) ウ (5) イ

問5 (1) ウ イ エ ア オ (2) エ ア ウ オ イ (3) ウ イ オ ア エ
(4) イ オ エ ウ ア (5) ウ オ ア エ イ

問6 (1) キ (2) エ (3) カ (4) イ (5) ウ

問7 (1) イ (2) イ (3) エ (4) ウ (5) エ

令和7年度版

看護学科

入学試験過去問題



学校法人 美専学園

北海道医薬専門学校

国語総合

問一 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

中瀬絵里さんは、全盲の読書家です。先天的に全盲ですから、そもそも「見る」ということがどういうことかを経験的には知りません。それゆえ、目が見える人の文章を読んだときに、①小さな違和感を感じることもあると言います。

たとえば小説で、レストランの店内の様子が描写されていたとします。「店のaトビラをあけると、カウンターのほかにテーブル席が五つあった」。たとえばこんな何気ない描写であつたとしても、中瀬さんにとっては、違和感を感じると言います。

それはどんな違和感か。「細かい」と中瀬さんは言います。「本を読むとすぐ情報が細かい。ふだん知らないようなことも書いてあつて、『へー、テーブルが五つ』みたいな(笑)。行きつけのお店でも数えたことないような情報が入ってくるから、細かいな、と思います」。

「細かい」という反応は、中瀬さんが実際にレストランに行くときの経験の記憶と、本で描写されている情報を比較することから生じています。中瀬さんは、行きつけのお店であつてさえ、わざわざ席の数を確認したことはない。ゆえに思い出そうとしても思い出すことができない。それは意識していない、記憶していない情報です。

(A)、目が見える人が書いた文章には、平然と席の数が「五つ」と明示してある。自分が意識・記憶していない情報が描いてあるがゆえに、中瀬さんはそれを「細かい」と感じているのです。

注意しなければならないのは、このbサイが、単純な情報の「量」にはcカンゲンできないということです。

確かに目が見える人の記述は、中瀬さんが意識・記憶していない情報も含まれているという意味で、情報量が多いように思えます。しかし「テーブルが五つ」という情報によって、目が見える人が何を伝えようとしているかを考えれば、そこに②「質」の問題も関わっていることが分かります。

③目が見える人がレストランの席数を記述するとき、多くの場合それは「レストランの規模」を読者に伝えることが目的でしょう。(B)、dスイリ小説などでは「5」という数そのものが重要になる場合もありますが、たいていは数は手がかりにすぎません。「五席」であればかなり小さな、こじんまりしたレストランでしょうし、「一〇〇席」となればファミレスのような、店員さんがeタンスをもつて注文を取りに来るような機械化された店をイメージします。席数という情報を手がかりに、目が見える人は、店舗の空間的な広さやタイプ、料理の価格帯、想定されるコミュニケーションなどについてイメージをふくらませます。

では全盲の方がレストランに行くとき、彼らはこうした店の規模に関する情報を得ていないかという、必ずしもそういうわけではないでしょう。お客さんの会話のトーン、BGMや環境音が反響する具合、あるいは頬にあたる空気の流れを手がかりに、彼らは瞬時に「規模」を把握しているはずです。

中瀬さんも言います。「たとえば初めてのレストランに行つたとしますよね。そうすると、広そうなのかな、こじんまりしたレストランなのかなは、なんとなくfフアンキでわかります」。ただ、それを「席数」という数では表現しただけです。

(C)、見える人が席数を描写するのは、レストランに入ったときに「自分(たち)の席を選ぶ」意識があることも関係しているでしょう。店のなかで、どこに空席があり、どこが人数にやさしく、かつどこが最も居心地がよさそうか。つまり目が見える人の多くが、レストランに入った瞬間、「テーブル」に意識を奪われているのです。

(D) 「席数」の描写があっても不自然には感じない。これに対し、目の見えない人は、特に初めて入るレストランでは、自分で席を決めるのではなく、介助者や店員に案内されて席につく、という形になります。つまり、「テーブルの状況を把握しなくちゃ」という習慣がない。④こうした意識の違いも、描写の違いの一因であると考えられます。

伊藤亜紗 「記憶する体」

(1) 二重傍線 a ～ f のカタカナを、正しい漢字に直しなさい。

(2) () A ～ D に入る言葉を、次から選び記号で答えなさい。

ア だからこそ イ もちろん ウ ところが エ 加えて オ では

(3) 傍線①とあるが、中瀬さんは目の見える人の文章をどう感じているということか。その内容として最も適切なものを選択肢から選び、記号で答えなさい。

ア 毎日の生活の中でそれほど重要と思っていない、書かれていても退屈を感じるだけのテーブル席の情報に対して「細かい」と感じている。

イ 毎日の生活の中でそれほど意識していない、書かれていても理解できないテーブル席の情報が延々と記述されていると感じている。

ウ 毎日の生活の中で自分が意識・記憶していない、書かれていてもさほど意味があると思えないテーブル席の情報が、こと細かく記述されていると感じている。

エ 毎日の生活の中で経験することがない、目的も意図もわからない「席を数える」という行為について、あまりに細かく記述されていると感じている。

オ 毎日の生活の中で考えたこともない、目の見える人にとってもさほど意味を感じられないテーブル席の情報が、こと細かく記述されていると感じている。

(4) 傍線②とは、どのような問題か。その内容として最も適しているものを、選択肢から選び記号で答えなさい。

ア 店内にあるテーブルが、いかに少ないかを伝える情報となっていること。

イ 店内にあるテーブルが、どのような質感かを伝える情報となっていること。

ウ 店内にあるテーブルが、どう配置されているかを伝える情報となっていること。

エ 店内全体の空間や広さ、店のタイプなどを伝える情報となっていること。

オ 店内で利用できるサービスについて、こと細かく伝える情報となっていること。

(5) 傍線③とあるが、それでは目の見えない人はどのような情報によって規模を感じることができているのか。文中から最初と最後の五文字を抜き出して答えなさい。

(6) 傍線④とは、どのような違いなのか。次の文章の空欄に、文中の語句を抜き出して埋めることによって、説明を完成させなさい。

たとえば初めてレストランに行ったとき、目が見える人は「 X 」意識で店内のテーブルを見るが、全盲の人は自分の意志ではなく案内されて着席するため、「 Y 」という習慣がないという「違い」があるということ。

問二 次の傍線部の漢字の読みを答えなさい。

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| ① 貸し出した本の返却を <u>督促</u> する | ② <u>叙景</u> にすぐれた作品 |
| ③ 契約書に <u>捺印</u> してもらう | ④ 土地に泥の層が <u>堆積</u> する |
| ⑤ アイドルの恋愛は <u>ご法度</u> だ | ⑥ 公園は <u>閑散</u> としている |
| ⑦ <u>灼熱</u> の太陽 | ⑧ <u>所謂</u> 瓢箪から駒 |
| ⑨ <u>廢屋</u> 同然の建物 | ⑩ <u>厄介</u> な事件 |

問三 次の空欄には、反対もしくは対応する意味の漢字が入る。語群より正しい漢字を選び答えなさい。

- | | |
|-----------------|----------------|
| ① 同じ医者でも巧（ ）がある | ② 社員の勤（ ）管理をする |
| ③ （ ）果心報 | ④ 作品に優（ ）をつける |
| ⑤ 金銭の（ ）借に関する証書 | ⑥ 参加の（ ）否 |

【語群】 怠 貸 拙 因 喪 諾 劣 緯

問四 次の言葉の対義語を、語群のひらがなを漢字に直して答えなさい。

- ① 横柄 ② 偉大 ③ 賢明 ④ 束縛 ⑤ 防御
⑥ 回収 ⑦ 褒賞 ⑧ 平凡 ⑨ 繁忙 ⑩ 暴露

【語群】

かいほう あんぐ こうげき けんきよ ほんよう
かんさん ひとく いしよく ちようぼつ はんぷ

問五 次の意味を持つことわざ・慣用句を、語群から選び記号で答えなさい。

- ① 達人でも時には失敗すること
② 人の好みはさまざまであること
③ 少しも手こたえがないこと
④ 素早く動いて人より先に利益を上げること
⑤ 物事のバランスが取れていない様子

【語群】

ア 生き馬の目を抜く イ 医者の不養生 ウ 蓼食う虫も好き好き
エ 凶に乗る オ 提灯に釣り鐘 カ 暖簾に腕押し
キ 春秋に富む ク 河童の川流れ

コミュニケーション英語 I・II

問1. 次の日本語に相当する英語を、それぞれ1つずつ選び、ア～エから答えなさい。

- | | | | | |
|----------|-------------|------------|-------------|-------------|
| (1) 理性的な | ア rational | イ national | ウ radical | エ medical |
| (2) 民族の | ア classical | イ racial | ウ local | エ physical |
| (3) 貴重な | ア defensive | イ passive | ウ precious | エ concise |
| (4) 一時的な | ア temporary | イ ordinary | ウ necessary | エ secondary |
| (5) 文学の | ア contrary | イ literary | ウ monetary | エ military |

問2. 次の英語に相当する日本語を、それぞれ1つずつ選び、ア～トから答えなさい。

- | | | | | |
|---------------|--------------|---------------|----------|---------------|
| (1) companion | (2) globe | (3) physician | (4) bias | (5) prospect |
| (6) faculty | (7) skeleton | (8) divorce | (9) clue | (10) heritage |
| ア 遺産 | イ 骨格 | ウ 見込み | エ 地球 | オ 手がかり |
| カ 有利 | キ 彫刻 | ク 繁栄 | ケ 手袋 | コ 内科医 |
| サ 離婚 | シ 能力 | ス 偏見 | セ 仲間 | ソ 物理学者 |
| タ 多様性 | チ 事実 | ツ 基礎 | テ 比較 | ト 乗組員 |

問3. 次の(1)～(10)の各文の空所に入る適切な語または語句を、ア～エから答えなさい。

- (1) He lost () little money he earned.
ア what イ which ウ how エ that
- (2) The position was filled by a man () they thought was very satisfactory for it.
ア whom イ whose ウ who エ of which
- (3) Don't spend more money () is needed.
ア that イ which ウ than エ what
- (4) The country's policy remained the same, () party was in power.
ア whichever イ however ウ whenever エ whoever
- (5) Mary's Japanese was not very good, () the audience were moved by her speech.
ア because イ but ウ so エ therefore
- (6) () you should stop smoking is an important decision for you to make.
ア Whether イ While ウ Unless エ If
- (7) () I met him, he was still a high school student.
ア At first イ The first time ウ In the first エ For the first time
- (8) I had no sooner got home late at night () I went to bed.
ア if イ as ウ than エ that
- (9) I will lend you the money () condition that you return it soon.
ア on イ in ウ for エ with
- (10) Dark () it was, I managed to find my way back.
ア if イ that ウ as エ while

問4. 次の英文を読み、後の1～5の問いに答えなさい。

① Some plays are so successful that they run for years (1) end. In a sense, this is unfortunate for the actors who are required to go on repeating the same lines day after day. It is thought that they learn their lines by heart and never forget them. Yet this is not always the case.

② A famous actor once played the part of a nobleman who had been put in prison for twenty years. In the last scene, a jailer was expected to appear and hand a letter to the nobleman. As the nobleman was expected to read the letter, he always insisted that it should be written down (2) full.

③ One night the jailer played a joke on him to find out if his fellow actor had managed to learn the contents of the letter (3) heart yet. The curtain went up on the final scene of the play and the jailer handed the letter to him; but the letter was not written out this time. It was a blank sheet of paper. The fellow actor stared at the blank sheet of the paper for a few seconds and said, "The light is dim. Read the paper for me." And he handed the sheet of the paper to the jailer. Finding that he could not remember a word of the letter either, the jailer said, "The light is indeed dim. I must get my glasses." And he hurried off the stage. (4) the nobleman's amusement, the jailer returned soon with a pair of glasses and 5. _____.

(注) jailer 看守 nobleman 貴族 fellow actor 同僚の役者 dim 薄暗い

(1) 段落①の下線部 the case が意味する日本語を1つ選び、ア～エから答えなさい。

- ア セリフを暗記していること
- イ セリフを決して忘れていないこと
- ウ セリフを暗記していて決して忘れていないこと
- エ 暗記したセリフを忘れてしまっていること

(2) (1)～(4)に入る最も適切な組み合わせを、ア～エから選びなさい。

- ア (1) in (2) on (3) to (4) By
- イ (1) in (2) on (3) by (4) To
- ウ (1) on (2) in (3) by (4) To
- エ (1) on (2) in (3) to (4) By

(3) 段落③の下線部 a blank sheet of paper が意味する英語を1つ選び、ア～エから答えなさい。

- ア the usual letter which was written out
- イ the paper on which nothing was written
- ウ the letter which was hard to read by the dim light
- エ the letter which was easy to read by using glasses

(4) 段落③の下線部 5 に入る適切な英語を1つ選び、ア～エから答えなさい。

- ア the usual letter without lines
- イ the precious letter with lines
- ウ the letter whose contents the actor memorized
- エ the letter which was not written out

(5) 本文の内容に合うものを1つ選び、ア～エから答えなさい。

- ア The nobleman always expected to receive a blank sheet of paper from the jailer.
- イ The nobleman always expected to receive a pair of glasses from the jailer.
- ウ The jailer wanted to know if his fellow actor had at last learned his lines.
- エ The jailer wanted to see if his fellow actor could read the letter by the dim light.

令和7年度過去問 回答

国語総合

- 問1 (1) a扉 b差異 c 還元 d 推理 e 端末 f 雰囲気
(2) Aウ Bイ Cエ Dア
(3) ウ (4) エ (5) お客さんの～空気の流れ
(6) X「自分(たち)の席を選ぶ」 Y「テーブルの状況を把握しなくちゃ」
- 問2 ①とくそく ②じょけい ③なついん ④たいせき ⑤はっと
⑥かんさん ⑦しゃくねつ ⑧いわゆる ⑨はいおく ⑩やっかい
- 問3 ①拙 ②怠 ③因 ④劣 ⑤貸 ⑥諾
- 問4 ①謙虚 ②暗愚 ③凡庸 ④解放 ⑤攻撃
⑥頒布 ⑦懲罰 ⑧異色 ⑨閑散 ⑩秘匿
- 問5 ①ク ②ウ ③カ ④ア ⑤オ

コミュニケーション英語I・II

- 問1 (1) ア (2) イ (3) ウ (4) ア (5) イ
- 問2 (1) セ (2) エ (3) コ (4) ス (5) ウ (6) シ (7) イ (8) サ
(9) オ (10) ア
- 問3 (1) ア (2) ウ (3) ウ (4) ア (5) イ (6) ア (7) イ (8) ウ
(9) ア (10) ウ
- 問4 (1) ウ (2) ウ (3) イ (4) イ (5) ウ